

一般質問通告書

令和4年6月定例会

1番 中島 好人 議員 (一問一答)

1 市営住宅について

- (1) 市営住宅における現状と課題について、どのように考えているか。
- (2) 老朽化した住宅への対応について、どのようにしているか。
- (3) 「空き住宅」の整備について、どのように考えているか。
- (4) 電気容量の拡大に取り組むことについて、どのように考えているか。
- (5) 生活排水の垂れ流し状態について、どのように考えているか。
- (6) 連帯保証人の代わりに民間保証会社を導入する考えはないか。

2 行政格差について

- (1) 山陽地区の児童館建設がいまだに実現していない。建設について、どのように考えているか。

3 循環型社会の形成について

- (1) ごみ排出量の軽減に向けどのように取り組んでいるか。
- (2) プラスチックごみに対する現状について、どのように考えているか。
また、今後の対応策をどのように考えているか。

2番 長谷川 知 司 議員 (一問一答)

1 公立保育園環境整備について

- (1) 職員及び送迎保護者の駐車場スペースの安全対策をどう考えているか。
- (2) 園舎及び園庭の整備方針はあるか。
- (3) 子育てしやすい山陽小野田市として、本市の保育園の特色は何か。

2 LABV推進における課題について

- (1) 「にぎわい」とあるが、セメント町エリアを中心にどの程度の「にぎわい」を求めているのか。現在計画中のリーディング施設に入居予定の団体は、ほとんどが土日祝日に閉館している。市民活動センターの役割と市民が集える土日祝日に、どのように人を呼び、「にぎわい」が生じるのか。
- (2) 様々な場面で学生達に期待している提案があるが、学生へのアンケートや学生寮としての組織運営等は、どのように考えているのか。また、学生が地域公共交通を利用するための利便性はどうか。

- (3) 山口銀行跡のリーディング施設の具体的な活用計画には、どのような可能性があるのか。
- (4) 35年後の施設の継続あるいは解体、整地の場合の負担等のリスク分担はどうなっているか。
- (5) LABVとサンパークとの関係は、今後どのように考えているのか。

3番 吉永美子議員（一問一答）

1 環境問題について

- (1) 環境教育の推進及び学校施設のZEB化の推進についてどう考えているか。
- (2) エコスクールとして取り組んでいる埴生小学校の省エネ効果及び教育効果をどう捉えているか。
- (3) 昨年6月議会で提案した市役所の「緑のカーテン」の取組状況はどうか。

2 地方創生臨時交付金の活用について

原油価格・物価高騰対応分の地方創生臨時交付金の活用について、国の趣旨を本市でどう反映させるのか。

3 市民の声について

- (1) 独居高齢者が増えている状況の中で、複雑化した社会に対応せざるを得ない高齢者が気軽に相談できる「高齢者なんでも相談窓口」の設置はできないか。
- (2) 学校には多くの市民がボランティアとして訪問しているが、訪問者が利用するトイレについても洋式化を進められないか。

4 公共施設使用料の整合性について

昨年9月議会で取り上げた際、市長から「現在の使用者の意見も頂きながら全庁的に協議を重ねていきたい」といった旨の答弁があったが、その後の検討状況はどうか。

5 糸根公園の整備について

長年にわたって住民に愛されてきた天文館について、その貴重な歴史を残すべく、公園内に資料館を設置できないか。

4番 宮本政志議員（一問一答）

1 空き家対策の拡充について

- (1) 藤田市長は、「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」を本市のキャッチフレーズとして掲げている。また、将来都市像の「活力と笑顔あふれるまち」では、市民の生命、財産を守る「安心・安

全の確保」が基本である。「安心・安全の確保」のためには、様々な視点からの政策が必要だが、全国的な社会問題の一つに、空き家問題があり、この20年で空き家総数は576万戸が849万戸となり1.5倍に急増している。空き家の増加は、倒壊や崩壊、放火による火災、衛生の悪化、治安の悪化、景観の悪化など多くの問題をはらんでおり、早急に取り組むべき問題である。空き家の戸数について本市の近年の現状と今後の見通しはどうか。

- (2) 空き家問題は一朝一夕に解決できるものではないが、「安心・安全の確保」のためには、効果のある具体的な方策が必要である。市の現在の問題解決のための施策は何か。また今後新たな施策展開を行う予定はあるか。
- (3) 周辺住民や登下校中の子どもたちに危害を及ぼす空き家が長期間放置される原因の一つが、空き家を解体すると固定資産税等の住宅用地特例の適用がなくなり税負担が大きくなることである。危険な空き家に対して、住宅用地特例の適用を見直していく予定はあるか。
- (4) 藤田市長は、「住みよい暮らしの創造」をまちづくりの基本理念とし、掲げている。その基本理念の中には、行政が果たす役割として、少子高齢化による人口減少が加速していく中、人口流出の抑制に、歯止めを掛けていく必要があることが示されている。そこで、目的と効果を明確にした空き家対策に関係する補助金制度の拡充が急務であると考えている。空き家対策と人口流出の抑制並びに市内への転入増加施策をどのように結び付け、これから更に進む少子高齢化に歯止めを掛けるための移住・定住促進と空き家対策をどのように進めていくのか。

2 市内公立学校の災害対策について

- (1) 本市の浸水想定区域内には、多くの公立学校があり、災害時の避難所にもなっている。その避難所が災害発生時に被災すると被害は甚大化し、多くの市民の生命が奪われることになるが、避難所になっている公立小中学校の災害対策はどうなっているか。
- (2) 市内で特に災害発生時の被害の甚大化が想定される厚狭小学校と小野田小学校の校舎建替、若しくは移転なども含めた総合的な災害対応や災害対策は急務であると考えているが、これらの災害対策について、市はどう考えているのか。

5番 藤岡修美議員（分割質問・分割答弁）

1 文化によるまちづくりについて

- (1) 平成24年度から「山陽小野田市文化振興ビジョン」により取り組ん

できた本市の文化政策の現状と課題は何か。

(2) 今年4月に策定された「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」では、その課題にどのように取り組んでいくのか。

(3) 「山陽小野田市文化芸術振興ビジョン」による文化芸術振興の推進体制と進行管理について、どう考えているか。

2 スポーツによるまちづくりについて

(1) 令和5年度に向けて、中学校の運動部活動の地域移行について検討が進められているが、本市の取組状況はどうか。

(2) 地域や学校によって状況が異なる中、運動部活動の地域移行を進めるためには、どのような方策が考えられるか。

(3) 運動部活動を地域に移行する際の受け皿となる団体や組織について、どのように考えているか。

(4) 地域における運動部活動の指導者をどのように確保、育成していくのか。

6番 矢田松夫 議員 (一問一答)

1 山口東京理科大学薬学部建設事業について

(1) 大学推進室の役割は何か。

(2) 建設事業に関する「検証報告書」の中で、疑義を解明できず、責任を不問に付した問題もあるが、市民への説明責任を果たしたと考えているのか。また、市の責任をどう考えているのか。

2 ねたろう保育園記念樹移植工事について

(1) 移植の意義と目的は何か。

(2) 移植工事(事業計画)は、いつ、どこで、誰が、どのように決定したのか。

7番 山田伸幸 議員 (一問一答)

1 国民健康保険の均等割について

(1) 国保均等割の18歳以下の子供分の徴収と子育て支援に矛盾はないか。

(2) 18歳以下の国保均等割の減免を実施する考えはないか。

2 LABV事業に対する藤田市長の取組姿勢について

(1) 事業の目指す方向や市民の納得を得るために市長自身が前面に立って、取組姿勢を見せていく考えはないか。

(2) 長期にわたる事業期間と業務執行権を放棄することで、どのように市の考えを反映させることができるのか。

3 自治体デジタル化への取組について

- (1) デジタル化への市の基本的な取組方針はどういったものか。
- (2) デジタル化の推進と個人情報保護の両立をどのように考えているのか。

4 地域からの切実な要求と画一的な行政運営について

- (1) カーブミラーや交差点照明設置要求などに対して、柔軟な発想ができないために「市の基準」なるものが住民からの願いを退ける理由付けにされていることはないのか。
- (2) 「市全体から要望があるので順番に」と回答されたが、10年以上も放置されることであってよいのか。

8番 伊場 勇 議員 (一問一答)

1 建設工事の入札制度について

(1) 特別簡易型総合評価方式の入札制度について

ア 山口県では平成20年度から「特別簡易型総合評価方式」、「標準型総合評価方式」を追加し、原則として一般競争入札による発注する全ての工事に総合評価方式を適用しているが、本市の入札及び水道局の入札の実施状況はどうか。

イ 国県の動向を踏まえ、本市でも総合評価方式の回数を増やす考えはあるか。

ウ 特別簡易型総合評価方式の評価項目において、企業の地域貢献度の項目の見直しの考えはあるか。

(2) 建設工事等指名競争入札参加有資格のランク付けについて、山口県が令和2年から下請完成工事高に建設工事のとび・土工・コンクリートの土木一式工事を組み入れることを認めたため、完成工事の増加が考えられるが、適正なランクの基準額になっているか。

(3) プロポーザル方式の審査結果は総得点のみの公開となっているが、審査の詳細も開示するべきではないか。

(4) 入札後の適正な工事と工期の厳守について

ア 公共工事の工期が遅延した場合、市民に迷惑を掛けると考える。本市では遅延理由書等の確認体制はできているか。

イ 一括下請負は建設業法で原則禁止となっているが、本市ではどのようにチェックし、対策を行っているか。

2 ゴルフ場を活用したまちづくりについて

(1) 本市には六つのゴルフ場があり、本市の観光客数の約4分の1の年間約26万人が利用している。またゴルフ場利用税交付金として毎年約6,000万円以上の歳入があり、本市の大切な資源であると考えている。それ以外に本市にゴルフ場があるメリット・デメリットは何があるかと考

えているか。

(2) ゴルフ場を活用した取組やゴルフ場への支援について

ア 現在の取組や支援は何があるか。

イ ジュニア育成への取組や支援については考えているか。

(3) 感染症の状況や国の動向を踏まえ、各自治体ではインバウンドへの取組が加速化している。本市でもゴルフを活用したインバウンド促進の取組を始めるべきではないか。

(4) 本市には「ゴルフのまち」としてのアピールできる強みがあると考えますが、なぜ積極的に行わないのか。

9 番 岡 山 明 議員 (一問一答)

1 バリアフリー化の取組について

(1) 不二輸送機ホール等にエレベーターが設置されているが、視覚障がい者を誘導する設備(点字ブロック等)を設置する必要はないか。

(2) 不二輸送機ホールのステージの昇降段に手すりを設置する必要はないか。

(3) 地域交流センターの入口には高低差があり、階段、スロープを設置し、場所により手すりも設置している。階段からスロープへの変更や手すりを設置する基準はあるか。

(4) 言語バリアフリー化の一環として、ごみ収集カレンダーや家庭ごみの出し方を別の言語で作成しているか。

2 公共施設での喫煙について

(1) 学校、病院以外に敷地内禁煙としている公共施設はあるか。

(2) 敷地内禁煙としている公共施設の周辺で吸い殻の問題が出ているようだが、対策はしているか。

(3) 各公共施設の喫煙場所を把握しているか。

(4) 喫煙場所の見直し・縮小等の考えはあるか。

3 学校以外でのタブレットの使用状況について

(1) 自宅で使用する頻度はどの程度か。

(2) 児童クラブに通信環境を整え、使用可能にできないか。

(3) 破損や紛失した場合、誰が弁償するのか。

10 番 大 井 淳一郎 議員 (一問一答)

1 ヤングケアラーに対する実態把握と支援について

厚生労働省の調査によると中学2年生の17人に1人がヤングケアラー(本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的

に行っている子供)であり、本市にも一定数いると考えられる。共働き世帯やひとり親世帯が増えている現状の中で、子供に過度の負担がかかれば学業や友人関係に影響が出る可能性がある。そこで、本市のヤングケアラーに対する実態把握と支援について問う。

- (1) 本市はヤングケアラーの実態を把握しているのか。
- (2) 今後どのようにして支援に取り組んでいくのか。
- (3) ヤングケアラーに対する認知度をどのように向上させていくのか。
- (4) ケアラー支援条例を制定する考えはあるか。

2 公共施設におけるWi-Fi整備について

Wi-Fiは電話回線がつながりにくい状況でもインターネットにアクセスしやすい利点があり、スマートフォンなど無線LANの利用が可能な端末が普及していることから、災害時でも効果的に情報を受発信できる通信手段である。平時においても観光情報の収集、行政サービスの向上や教育ICTの環境整備にも寄与できる。そこで、公共施設のWi-Fi整備について問う。

- (1) 本市の公共施設における整備状況はどうか。
- (2) 今後の整備計画についてはどうか。

3 給付金等の送金事務について

山口県内でコロナ給付金の誤送金があり、全国的にも大きく報道された。これは決して対岸の火事ではなく、本市も万全の体制がとられる必要がある。そこで、給付金等の送金事務と誤送金した場合の対応について問う。

- (1) 給付金等の送金事務の現状はどうか。
- (2) 誤送金を防止するためにどのような対策を講じているのか。
- (3) 万が一、誤送金した場合の対応についてはどうか。
- (4) フロッピーディスクからデータ伝送へ移行する考えはあるか。

4 職員の人材育成について

「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」を実現するためには、アフターコロナの時代を見据えて、社会経済の仕組みの変化に対応できる職員の人材育成が不可欠である。本市も人材育成基本方針に沿って取り組んでいるが、その進捗状況と今後の方向性について問う。あわせて、今年度「山陽小野田市次長・課長級職員研修事業」を実施する目的について問う。

1 1 番 松 尾 数 則 議員 (一問一答)

1 中山間地域政策の展開と課題について

- (1) 農林水産省が提案している、生活支援等地域コミュニティ維持に資

する組織、農村型地域運営組織「農村RMO」の取組について、どのように考えているか。

- (2) 持続可能なこれからの農業にとって「半農半X」が示す農業の方向性について、どう考えているか。
- (3) 農業の大規模化が進む中、国際連合による「小農」宣言が採択された。これは多様性・持続性に小規模農業が適しているとの判断と思われるが山陽小野田市の今後の農業施策の在り方をどう考えているか。
- (4) 6次産業は中山間地域の農家所得の向上をもたらし、地域の活性化につながる。農業の生産構造の改革について、どう考えているか。
- (5) 市内にある使い切れない農地を生かす考えはあるか。
- (6) 農地利用最適化の推進に関する基本的な考え方を聞く。
- (7) 小さな拠点づくりは、どの程度進捗しているか。
- (8) 誰も取り残さない取組を推し進める一環として農福連携をどう考えているか。
- (9) 中山間地域においても未婚の男女が増えている。婚活の場を提供する考えはあるか。

2 森林の公益的機能について

- (1) 森林環境税・森林環境譲与税について、その趣旨を聞く。
- (2) 森林環境税・森林環境譲与税は、どのように使用しているか。
- (3) やまぐち森林づくり県民税の仕組みと本市の実績はどうなっているか。

12番 恒松恵子議員（一問一答）

1 本市の教育行政の取組について

- (1) 今春のコロナ感染者増加時、学校運営は大きく影響を受けたと思われるが、どのように対応したのか。
- (2) GIGAスクールは順調に進んでいると思われるが、学校や教諭によって児童生徒の習熟度に差が出ないように市はどのように取り組んでいるか。
- (3) 不登校、いじめ問題への対応と対策はどうなっているか。
- (4) 市長の施政方針「地域を創る」「ひとを創る」に基づいた教育行政にどのように取り組んでいるか。

2 JRの利用促進について

- (1) JRが赤字路線を公開し、廃線に不安を持つ市民が多くいるが、市は、今後、どのように対応するのか。
- (2) JR美祢線、JR小野田線の利用促進について、どのような取組をしていくのか。